別紙

（様式９）

　　　　　　　　　　　　 **県施策との連携**

　　県では、今回設置するレストランにおいて、県施策との連携を期待しています。

【記載要領】

　○　県が連携を想定している施策に関し、考えられる連携手法をご提案ください。

○　次の６分野から選択して、ご提案をお願いします。

○　提案内容の特徴等についてもアピールしてください。

○　各シートの区切り線は目安です。記載欄内で上下に移動させて、各項目の文字数を調整する

ことは可能です。別の任意様式を用いていただいて構いません。

【連携を想定している県の施策】

１　未病改善に資する取組 ２ページ

２　食品ロス削減推進 ３ページ

３　かながわプラごみゼロ宣言 ４ページ

４　県産品の利用等メニューへの工夫 ５ページ

５　店舗内でのイベントの実施 ６ページ

６　県施策の情報発信 ７ページ

（様式９）

|  |
| --- |
| 県施策との連携 |
| 分類 | １　未病改善に資する取組 |
| 説明 | 神奈川県では、高齢社会を迎えている中、誰もが生き生き元気に笑って暮らせる神奈川の実現に向けて、未病改善の取組み※１を推進しています。レストランを利用することで、楽しみながら未病改善に直接取り組めるような提案（コンセプト）を求めます。なお、今後県が取り組む未病改善施策に積極的に協力いただける事業者を望みます。 |
| 提案例 | ・　神奈川県産食材を使った栄養バランスの取れたメニュー、減塩や糖分少な目メニューの提供（セットメニューで未病改善メニューが選択できる、一日の野菜摂取量350ｇが一度に取れるメニューなど）・　利用者に減塩を促すため、色のついた「カラー塩」や「スプレー式の醤油差し※２」などをテーブルに設置・　自然とサラダを食べたくなるような野菜の写真の掲示や、ベジファースト（食事の最初に野菜から食べることにより、食後の血糖値の急激な上昇を抑える）に取り組めるようなコース料理の設定・　野菜摂取量推定器の設置・　階段を使って12階レストランに来た方には割引サービス・　レストランでの未病改善の取組みに関する調査への協力 |
| 提 案 内 容 |  |

　※１　未病とは、心身の状態を健康と病気の二分論の概念で捉えるのではなく、「健康」と「病気」の間を連続的に変化するものとして捉え、この全ての変化の過程を表す概念を言い、県では、「食」「運動」「社会参加」の３つを柱に、未病を改善する取組を推進しています。

※２　スプレー式の醤油差しについては、下記ホームページを参照。

　　　 　http://y-cdc.org/portfolios/mistas/

デザインやコピーライティングなどを活用し、人々の健康行動の変容につなげる「広告

医学」の考え方を用いた未病改善の取組みを実施しています。

（様式９）

|  |
| --- |
| 県施策との連携 |
| 分類 | ２　食品ロス削減推進 |
| 説明 | ＳＤＧｓ等でも課題となっている食品ロス（特に食べ残し）の発生を減らすための普及啓発及びメニューやディスプレイ等を工夫することにより適量が選べるなど、食品ロス削減についての客の意識を高める取組です。 |
| 提案例 | レストランにおける食品ロス（特に食べ残し）の発生を減らすための手法をご提案ください。提案例として、次のような点が考えられます。①　メニュー（ライス○○g）やディスプレイ等で、提供される料理の量が把握できるように工夫する②　提供する量（ライス　大、中、小等）を選べるようにする③　食ロス削減に係るポスターやポップを掲出する④　ビュッフェ形式などであれば、「食べきる量を何回でも」というキャッチフレーズなどを掲示する |
| 提 案 内 容 |  |

（様式９）

|  |
| --- |
| 県施策との連携 |
| 分類 | ３　かながわプラごみゼロ宣言 |
| 説明 | 神奈川県では、持続可能な社会を目指すＳＤＧｓの具体的な取組として、深刻化する海洋汚染、特にマイクロプラスチック問題に取り組んでいます。2030年までのできるだけ早期に、リサイクルされない、廃棄されるプラごみゼロを目指します。この目的の達成に向け「ワンウェイプラの削減」、「プラごみの再生利用の推進」、「クリーン活動の拡大」の３つを柱にして、取組を進めています。「ワンウェイプラの削減」については、ワンウェイプラの店頭回収の推進、プラ製容器の削減、代替素材への転換等を進めます。「プラごみの再生利用の推進」については、ペットボトル３分別（ボトル本体、ラベル、キャップ）を徹底することでペットボトルがペットボトルに再生される社会を目指します。「クリーン活動の拡大」については、河川や海岸などの清掃活動に参加する県民や企業・団体をさらに増やすことで、プラごみをポイ捨てしない意識を醸成していきます。 |
| 提案例 | レストランにおけるプラごみゼロ達成に向けた手法について、ご提案ください。提案例として、原則ワンウェイプラ容器の使用不可、などが考えられます。 |
| 提 案 内 容 |  |

（様式９）

|  |
| --- |
| 県施策との連携 |
| 分類 | ４　県産品の利用等メニューへの工夫 |
| 説明 | レストランで提供いただくメニューに県産品を利活用いただくことを想定しています。県産品を用いたメニューや５日間程度の県産農林水産物のブランド力の強化を目的としたＰＲのための短期イベント等について、ご提案ください。 |
| 提案例 | 三浦のだいこんや葉山牛など「かながわブランド」を使用したメニューをシーズンごとの限定メニューとして提供するなどが考えられます。このほか、水源地域の活性化※１（やまなみ五湖地域の特産品「やまなみグッズ」等）や我がまちツマミde乾杯宣言※２など、県内各地の取組みとの連携も想定されます。 |
| 提 案 内 容 |  |

※１　水源地域の活性化

　 　 　神奈川県のダム湖であるやまなみ五湖（相模湖、奥相模湖、津久井湖、丹沢湖、宮ヶ瀬

湖）の活性化を図る取組

※２　我がまちツマミde乾杯宣言

大井町、松田町において、いわゆる乾杯条例が制定されたことを契機として、地元で愛

されている酒類とツマミで乾杯する機運を県内全体で盛り上げ、地域を活性化することを

目的にした取組

（様式９）

|  |
| --- |
| 県施策との連携 |
| 分類 | ５　店舗内でのイベントの実施 |
| 説明 | レストラン内での県主催の会議及びイベント等の実施を想定しています。レストランの店舗内において、イベント等を実施する場合の手法について、ご提案ください。 |
| 提案例 | 【マグカル※の推進】　県庁前の日本大通りは、日曜日に「マグカル開放区」とし、幅広い年代の方々が音楽やダンス、大道芸などのパフォーマンスを発表・発信できる開放的な空間を展開しています（不定期開催。令和４年３月現在休止中、状況を見て再開予定）。提案例として、様々なアーティスト等のパフォーマンスを楽しみながら、レストランで飲食できる演出を行うなどが考えられます。【ＭＩＣＥ誘致】ビジネスイベント（ＭＩＣＥ）の県内誘致を進めています。提案例として、会議やセミナー、イベント、パーティー、懇親会等への貸出し対応する、などが考えられます。 |
| 提 案 内 容 |  |

　※　文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグネット・カルチャーの略。

（様式９）

|  |
| --- |
| 県施策との連携 |
| 分類 | ６　県施策の情報発信 |
| 説明 | レストランと連携し、県施策の情報発信、ＰＲの場とすることを想定しています。店舗のコンセプトと連動した効果的な情報発信手法等についてご提案ください。 |
| 提案例 | 【かながわ産品魅力発信事業】　平成31年２月に新たに選定した「かながわの名産100選」（工芸品11品目、加工食品56品目、農林水産品33品目　計100品目）について、プロモーションを実施しています。提案例として、食材や食器等に「かながわの名産100選」を使用し、使用した産品についてPRをすること、などが考えられます。【ホストタウン推進事業】　東京2020大会のレガシーとして国際交流施策を推進することを目的とした取組です。提案例として、ホストタウン相手国のメニューの提供などが考えられます。【かながわ県産木材の利活用の推進】県産木材による木質化等を進め、県産木材の普及・PRを図る取組です。提案例として、レストランの内装や家具等、お客様の目に留まる場所・物に、県産木材を使用いただくことや、デザイン性に富み、お客様の印象に残る、斬新な使い方、さらには、レストランで行われる各種イベントと連携して、県産木材のPRを行うこと、など考えられます。【かながわシープロジェクト発信事業】　県は、コカ・コーラ ボトラーズジャパン（株）との協定に基づき、地域限定販売の「コカ・コーラ」スリムボトル 湘南デザインの売り上げの一部を活用し、神奈川の海の魅力を伝える取組を進めています。提案例として、「コカ・コーラ」スリムボトル 湘南デザインを帯封付きの２本セットで販売すること、などが考えられます（帯封にかながわシープロジェクトのWebサイトへ誘導する二次元コードが記載されています）。 |
| 提 案 内 容 |  |